

日薬業発第 385 号
令和 7 年 1 月 10 日

都道府県薬剤師会 担当役員 殿

日本薬剤師会
副会長 森 昌平

抗インフルエンザウイルス薬の適正な使用と発注について（協力依頼）

平素より、本会会務に格段のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

今般の感染状況を踏まえた抗インフルエンザウイルス薬の増産及び安定的な供給につきましては、令和 6 年 12 月 27 日付け日薬業発第 366 号にてお知らせしたところです。

現在、インフルエンザ感染症の流行に伴いオセルタミビルリン酸塩製剤の需要が急増し、沢井製薬株式会社のオセルタミビル DS3%「サワイ」及びオセルタミビルカプセル 75mg「サワイ」の供給が在庫不足により、一時的に供給が滞っている状況です（令和 7 年 1 月 9 日付け日薬業発第 380 号）。

一方で、沢井社製抗ウイルス薬の出荷状況を踏まえ、塩野義製薬株式会社及び中外製薬株式会社においても、過剰な発注を防ぎ、在庫の偏在を防ぐ目的等により、各社の抗インフルエンザウイルス薬について、限定出荷が開始されたところです。

このような状況について、限られた医療資源を必要な患者に適切に供給できるよう、安定供給が確保されるまでの間、薬局におかれましては、過剰な発注は厳に控えること、地域の薬局間の連携により可能な限り調整すること、他社製品や代替薬の使用についても考慮いただきたい等の協力依頼が別添のとおりありました。

つきましては、貴会会員にご周知下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

（別添）

抗インフルエンザウイルス薬の適正な使用と発注について（協力依頼）

（令和 7 年 1 月 9 日付け事務連絡、厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課）

事 務 連 絡
令和 7 年 1 月 9 日

公益社団法人 日本薬剤師会 殿

厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課

抗インフルエンザウイルス薬の適正な使用と発注について（協力依頼）

厚生労働行政について、平素より多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
今般、標記について、各都道府県・保健所設置市・特別区衛生主管部（局）宛別
紙写しのとおり連絡いたしましたので、貴会会員への周知につき御配慮いた
だきますようよろしくお願いいたします。

事務連絡
令和7年1月9日

各（都道府県
保健所設置市
特別区）衛生主管部（局）御中

厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課

抗インフルエンザウイルス薬の適正な使用と発注について（協力依頼）

平素より厚生労働行政の推進にご理解及びご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

抗インフルエンザウイルス薬については、「今般の感染状況を踏まえた抗インフルエンザウイルス薬の増産及び安定的な供給について（協力依頼）」（令和6年12月26日付け厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課事務連絡）により、関係団体を通じて当該医薬品の製造販売業者に対して、適切な増産等の協力要請を行ってきたところであり、今年度の抗インフルエンザウイルス薬は、昨年度の供給実績量を上回る量の供給が計画されています。

しかし、今般のインフルエンザ感染症の流行に伴いオセルタミビルリン酸塩製剤の需要が急増し、沢井製薬株式会社のおセルタミビル DS3%「サワイ」及びオセルタミビルカプセル 75mg「サワイ」（以下「沢井社製抗ウイルス薬」という。）の供給が在庫不足により、一時的に滞っている状況です。

そのため、厚生労働省においては、「オセルタミビルリン酸塩製剤の適正な使用と発注について（協力依頼）」（令和7年1月8日付け厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課事務連絡。以下「協力依頼通知」という。）により、オセルタミビルリン酸塩製剤について、返品が生じないように、過剰な発注は厳に控えていただくことと等の協力要請を行ったところです。

一方で、沢井社製抗ウイルス薬の出荷状況を踏まえ、本日、塩野義製薬株式会社及び中外製薬株式会社においても、過剰な発注を防ぎ、在庫の偏在を防ぐ目的等により、各社の抗インフルエンザウイルス薬について、限定出荷が開始されたところです。

このような状況について、貴管下関係医療機関、薬局及び医薬品卸売販売業者等に対して周知いただくとともに、限られた医療資源を必要な患者に適切に供給できるよう、抗インフルエンザウイルス薬が安定的に供給されるまでの間、下記及び協力依頼通知について周知をお願いいたたく存じます。

記

1. 抗インフルエンザウイルス薬について、返品が生じないように、過剰な発注は厳に控えていただき、当面の必要量に見合う量のみのお購入をお願いしたいこと。
2. 薬局におかれては、処方された抗インフルエンザウイルス薬について、自らの店舗や系列店舗だけでは供給が困難な場合であっても、地域の薬局間における連携により可能な限り調整をしていただきたいこと。
3. 医療機関及び薬局におかれては、吸入薬の利用が可能な5歳以上のインフルエンザ患者に対しては、オセルタミビルリン酸塩ドライシロップではなく、吸入薬の処方を検討いただく等、医薬品の供給状況によって、他社製品や代替薬の使用についても考慮していただきたいこと。

なお、医療用医薬品の供給状況については、厚生労働省のウェブサイトにおいて参照可能であること。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/kouhatsu-iyaku/04_00003.html